

11 月 1 日 年間第 31 主日 (日本の典礼では「諸聖人の祝日」で聖書箇所が異なる)

## 愛—最も重要な掟

マルコによる福音書 12 章 28～34 節

<sup>28</sup>彼らの議論を聞いていた一人の律法学者が進み出、イエスが立派にお答えになったのを見て、尋ねた。「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」<sup>29</sup>イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。<sup>30</sup>心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』<sup>31</sup>第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」<sup>32</sup>律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』とおっしゃったのは、本当です。<sup>33</sup>そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」<sup>34</sup>イエスは律法学者が適切な答えをしたのを見て、「あなたは、神の国から遠くない」と言われた。もはや、あえて質問する者はなかった。

他の朗読：申命記 6:2～6 詩編 18:2～4, 47, 51 ヘブライ 7:23～28

### Lectio …読む

イエスの教えに感心した一人の律法学者が、イエスに最も重要な掟は何でしょうか、と尋ねました。イエスは「聞け、イスラエルよ」の言葉がよく知られている申命記の 6 章 4、5 節から、お答えになります。

イエスはユダヤの教師たちによく受け入れられている方法に従い、律法の書、即ち出エジプト記、レビ記、民数記及び申命記の全ての教えを要約する、最も重要な掟を選び取りました。言い換えるならば、この箇所はこれらの書の中で言われている全てのことの基礎であり目的なのです。そしてこれらの書に書かれているすべての事は、これを念頭において解釈されるべきなのです。最初の掟を表現するのに使われている言葉は申命記 6 章 4、5 節に記録されているものと少し変わっていて、その違いに目を留めることができます。

イエスは最初の掟を二番目の掟につなげます。二番目の掟とは、隣人を自分のように愛することです。これはレビ記 19 章 18 節の掟への言及です。

イエスは最も重要な掟の中心に愛がなければならないことを明確にします。最初に神への愛、次に隣人への愛です。このふたつを結びつけることにより、イエスはこのふたつはいつも共存していなければならないことを示唆します。真の宗教は人間の社会的な側面を無視することは出来ないのです。

イエスは、私たちの神への愛に何の制限も設けていません。私たちの隣人への愛は、私たち自身への愛と少なくとも同じでなければなりません。イエスは非常に高い標準を設けているのです。私たちは見返りを受けたり、得したりすることを期待することなく隣人を愛すべきなのです (ルカ 10 章 25～37 節)。

この質問をした律法学者はイエスの答えに賛同し、これらの掟に従うことは当時の儀式の中心であった動物の献げ物よりももっと重要で、もっとも優先順位が高いものである、との適切な意見を述べます。

### Meditatio …黙想する

これら 2 つの掟に実践的に従うということは、何を意味するかを考えてみましょう。これらは実際

どのように人生を変えるでしょうか。どうしたら神を完全に愛することが出来るでしょうか。どうしたら自分を愛するのと同じように隣人が愛せるでしょうか。

あなたにとって、宗教的な慣行とこれらの掟に従うことのどちらがより重要でしょうか。私たちの優先順位は何であるべきかについて、この箇所は何を伝えてくれているでしょうか。

## Oratio …祈る

神と他の人々をより充分に愛することができるよう、神に助けを願いましょう。

詩編 18 編は全編を通じ、神の多くの特性と多くの約束を挙げています。この詩編を通して祈るときに、これらの箇所が明らかにしている神の特性を探してみましょう。何を発見し、何があなたの信仰を深めてくれるでしょうか。

## Contemplatio …観想する

福音の朗読を深めるために、第一朗読の申命記 6 章 2～6 節はイエスが言及する原文を載せています。

ヘブライ 7 章 23～28 節は、何故イエスが完全な大祭司であるかを説明しています。もうこれ以上の犠牲は必要ではありません。何故ならイエスは、御父の意志への完全なる従順を通して、一回限り、ご自身の命の犠牲を通して私たちの全ての罪を贖ったのです。